

	<p style="text-align: right;">事前のお知らせ</p> <p style="text-align: center;">パネル展〜がんになった人からメッセージ 「がんになって、いま、わたしたちが思うこと」</p>
<p>と き</p>	<p>8月31日(水)～9月16日(金) 午前8時45分～午後8時(31日は正午から、16日は正午まで) 実施期間は施設により異なる</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区役所本庁舎2階通路、保健相談所(6か所)、光が丘図書館、南田中図書館</p>
<p>練馬区は、9月のがん征圧月間に関する取り組みとして、パネル展「がんになったひとが実践していること、伝えたいこと～“がんになって、いま、わたしたちが思うこと”」を8月31日(水)から9月16日(金)まで開催する。</p> <p>日本人の2人に1人はがんになる時代と言われているが、がん検診の受診率は低く、自分には関係がないと考えている人は少なくない。</p> <p>パネル展では、がんの治療を受けた区職員5人の体験談として、がん告知を受けた時の心境や、現在の思いなどをパネルで紹介。がんは誰でもかかる可能性があることや、早期発見・早期治療の大切さを、検診について紹介するパネルとともに伝える内容となっている。</p> <p>担当者は「自分や家族のことに置き換えて読んでいただき、がんについて考えるきっかけになってもらえれば」と話している。</p> <div data-bbox="842 611 1433 1055" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">展示しているパネルの一部</p>	

【がん検診の受診について】

がんは、日本での死亡原因の1位であり、現在も増え続けている。しかし、区内のがん検診受診率は、最も高い数値で24.4%(大腸がん40歳以上。対象人口率でみる受診率)。国が目標としている「がん検診受診率50%」には到達していないのが現状である(平成27年度)。未受診の理由としては、「おっくう」が一番多く、次いで「健康なので必要がない」となっている。(H26年練馬区健康実態調査より)

【がん予防講演会「知らないと損をする！プロが教えるがん検診活用の極意」を開催】

がん検診研究の第一人者である医師の齊藤博氏を講師に迎えて、がん検診の活用方法についての講演会を実施する。また、健康運動指導士の加藤有里氏が、健康づくりに役立つ正しい姿勢を紹介する。

日時：9月22日(祝)午後1時30分～4時

場所：区役所アトリウム地下多目的会議室

定員：200名(先着順)

申込：電話(健康推進課健康づくり係 03-5984-4624)

または電子申請で

講師： 国立がんセンターがん予防検診研究センター

検診研究部長 齊藤博氏

健康運動指導士 加藤有里氏



講師 写真



講師 写真

【問い合わせ】練馬区 健康推進課 健康づくり係 電話03-5984-4624